



特集2 自治体 Wi-Fi を活用した取組の紹介

(自治体 Wi-Fi を活用した取組の紹介－2)

災害時の情報通信手段強化 公設公営の大規模な公衆無線 LAN 環境整備 (徳島県)

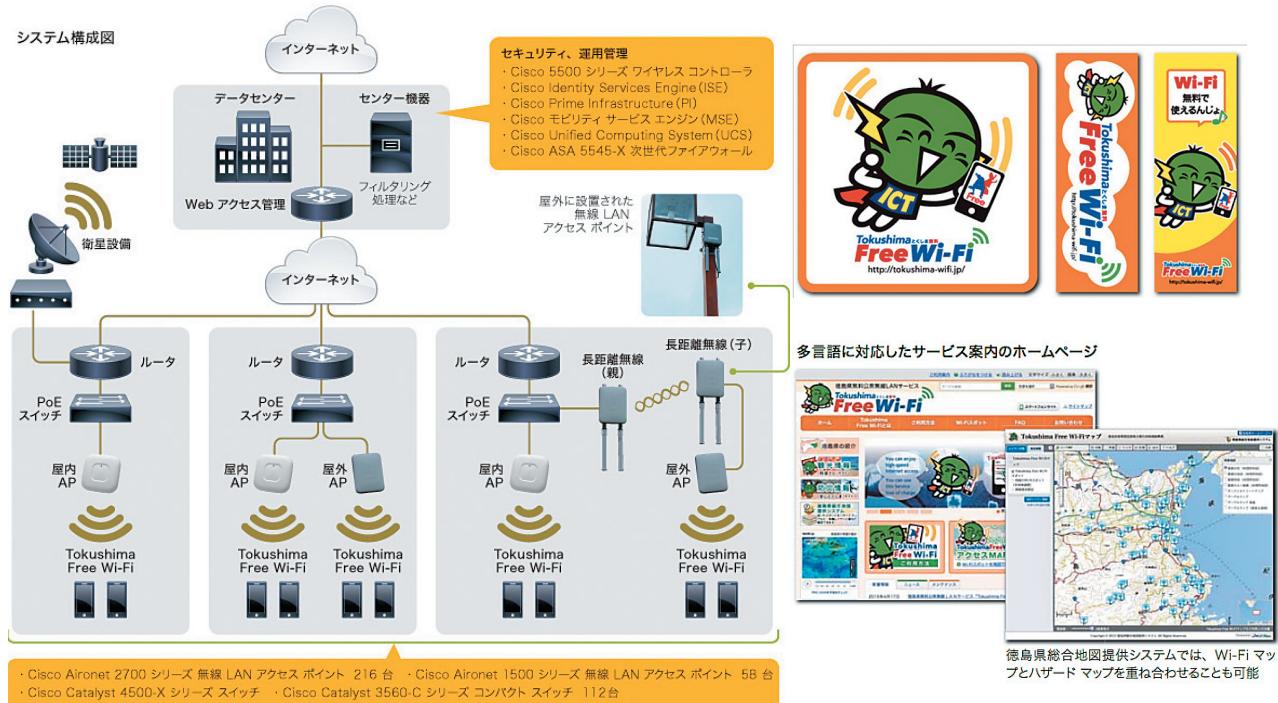
〔事業概要〕

災害時の情報通信基盤となる大規模な公設公営の無線LAN環境を構築し、平時はビジネスや観光分野でも活用して地方創生（地域活性化）に貢献。

徳島県は、県内のICTインフラの構築と、それを活用した施策の展開を積極的に進めていることで知られる。全県CATV網構想による全市町村で利用可能なブロードバンド環境の実現、また集落再生プロジェクトの一環としてICTを活用したサテライトオフィスの誘致など数々の取り組みは全国からも注目を集めている。平成27年（2015年）4月からは公衆無線LANサービスを新たに開始し、災害時だけでなく平時も活用できる公設公営の無線LANインフラを構築した。

〔コラム〕

① サービスイメージやシステム構成



② 事業展開による効果・成果

「Tokushima Free Wi-Fi」は、平成27年3月にテスト運用を開始し、4月から正式に運用をスタートした。公設の無線LANインフラとしては非常に大規模な構成で、設置した無線LANアクセ

スポットの位置情報はシステムとして管理しており、ホームページ上で地図情報と重ね合わせて確認することができる。また、セキュリティ対策の一環で、ログの取得と管理、追跡ができる仕組みを構築しており、記録したデータをセキュリティ対策に必要な情報として活用できる。将来的にはビッグデータとしての活用も進んでいくことが予想され、そのための基盤としても有効だと考えられる。行政だからできるインフラ、サービスとして、民間とは一線を画したものになった。

③ 事業展開のポイント

〔独創性・先進性〕

サービスの告知などを行うホームページは多言語表記に対応し、必要なときに必要な情報を適切に得られるように配慮と工夫がなされている。

スポーツの試合やイベントなどが催される徳島県鳴門総合運動公園と藍場浜公園では、一時的に利用できるSSIDを発行して、多数の来場者のアクセスに対応することもできる。すべての通信はデータセンター経由でインターネットにつなぎ、フィルタリングなどセキュリティ対策を集中的に行うが、大規模災害時にはスマートフォンからのワンタッチ操作で認証を不要とし、アクセス経路を即座に切り替えられる仕組みを備え、運用性にも配慮した環境を実現している。

〔サービス利用者の声〕

平時の運用では、専用のSSIDを選択してアクセスし、メールアドレスを入力すればすぐ利用できるシンプルさ、わかりやすさが好評。

〔今後の課題と展開〕

今後は観光施設への無線LANアクセスポイントの追加設置なども進め、県としてさらに「Tokushima Free Wi-Fi」をアピールしていきたいと考えている。同県は集落再生プロジェクトとしてサテライトオフィスの誘致を行っていることも有名で、ここを拠点としてビジネスを展開する企業も増えている。こうしたユーザ層に向けても、今回整備した公衆無線LAN環境は有効であると考えている。

〔導入費・維持費〕

- ・導入費用 約343,000千円（初期整備及び追加整備に要した費用。）
- ・維持費用 約18,000千円／年間（運用・保守業務委託に係る費用。回線利用料は含まない。）

〔問い合わせ先〕

- ・シスコシステムズ合同会社 パブリックセクター事業
小野 裕一
・〒107-0227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー
・電話：03-6434-6399 携帯：080-4156-7277
・e-mail：yuono@cisco.com